



皮膚科・アレルギー科

松戸ひなげし皮膚科

<http://www.hinageshi.jp>

● 診療時間 ●	月	火	水	木	金	土	日・祝
9:30-12:30	○	○	○	休診	○	○	休診
14:30-18:30	◎	○	○		○	/	

◎ 月曜午後のみ19:30まで診療
※ 受付は診療終了時間の30分前までです

お問い合わせ

TEL 047-711-7476



松戸ひなげし皮膚科

松戸駅西口徒歩2分

1F 松戸駅西口郵便局

〒271-0092
松戸市松戸1305-25 小畑ビル4F

ひなげし通信 No.6



院長 谷野 千鶴子

ひなげし通信

6号 不定期発行

かん せん
お題「乾 癬」

かんせん
乾癬は、皮膚が赤くなって（紅斑：こうはん）盛り上がり、表面に銀白色のフケのようなもの（鱗屑：りんせつ）ができて、ポロポロと剥がれ落ちる皮膚の病気です。半数の方が痒みを感じ、なかなか治りにくく、見た目も問題になることがあります。

「かんせん」という名前から誤解されやすいですが、他の人に感染する病気ではありません。

かんせん
乾癬は良くなったり悪くなったりを繰り返すのが特徴で、その症状・経過には個人差が大きい病気です。完全に治す治療法はまだ見つかっていませんが、症状を和らげたり抑えるには、主に以下の4つの方法があります。それらを単独または組み合わせて治療していきます。

- がいようりょうほう
1 外用療法 塗り薬を使用しての治療。
- ないふくりょうほう
2 内服療法 飲み薬を使用しての治療。
- こうせんりょうほう
3 光線療法 現在、乾癬に対しては特定の中波長紫外線（ナローバンドUVB）を照射する治療が一般的。
- せいぶつがくてきせいざい
4 生物学的製剤（注射・点滴） これまでの治療で効果がみられない患者さんに対して、免疫にかかわる物質の働きを弱めて乾癬の症状を抑える薬。現在、皮下注射と点滴の2種類。

治療は症状、患者さんの条件、治療の特徴によりその患者さんにあった一番よい治療法を選びます。

適切な治療法を選択することが肝心なので、まずはきちんと皮膚科を受診し、皮膚の状態を評価してもらうことが大切です。